

科目名称	大学編入演習				ビジネス・キャリア	( )	オフィス情報	( )	
英文科目名称	Introduction to University Transfer				グローバル・コミュニケーション	( )	医療事務・医療秘書	( )	
科目コード	590067	授業形態	演習	単位数	2				
教員氏名	田中 利砂子		年次配当	1年次	前期	ホテル・観光	( )	大学編入	(必)
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		アクティブラーニング		<input checked="" type="radio"/> 有・無				
授業概要 及び授業方法	大学の授業では、答えのない問題に自分で取り組むことになる。いろいろな答えを考え、さらにそれとは異なる視点から検討・批判し、より適切な答えを探しながら自律的に学んでいかなければならない。4年制大学への編入学試験では、このような能力(問題解決能力)が備わっているか否かが問われる。そこで、大学編入演習では、一般教養図書の読解を通して大学での学びに必要なクリティカル・シンキング(批判的思考)の力を養成する。また、他者と協力して学びあうことで、互いに貢献し認めあう態度も養う。								
関連する科目	文章表現の基礎Ⅰ・Ⅱ、大学編入実践演習				卒業認定(学習成果)との関連	①, ②, ③, ④			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の説明、大学で学ぶということ</li> <li>2. 議論を読むということ、1 ことばの構造、文化の構造 【テキスト理解】</li> <li>3. 1 ことばの構造、文化の構造 【テキスト理解】</li> <li>4. 1 ことばの構造、文化の構造 【理解から表現へ】</li> <li>5. レポートの書き方 【論理構成を考える①】</li> <li>6. レポートの書き方 【論理構成を考える②】</li> <li>7. レポートの書き方 【論理構成のピア・レスポンス】</li> <li>8. 1 ことばの構造、文化の構造 【ピア・レスポンス】</li> <li>9. 2 ものともことば 【テキスト理解】</li> <li>10. 2 ものともことば 【理解から表現へ】</li> <li>11. 2 ものともことば 【ピア・レスポンス】</li> <li>12. 3 かくれた規準 【テキスト理解】</li> <li>13. 3 かくれた規準 【理解から表現へ】</li> <li>14. 3 かくれた規準 【ピア・レスポンス】</li> <li>15. 3 かくれた規準 【論理構成のピア・レスポンス】</li> </ol>								
授業時間外の 学 習	<p>【予習】 毎回授業の際に次回の内容に基づいた課題を出す。(2時間程度)</p> <p>【復習】 授業で学んだ内容を振り返り、定期的に出題される課題や小レポートを確実に遂行すること。(2時間程度)</p>								
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 書かれたものを鵜呑みせず理解し、吟味することができる。</li> <li>② 新聞、雑誌、一般教養図書など、何でも読みこなせるようになる。</li> <li>③ 積極的に他者と協力して学びあう態度、互いに貢献し認めあう態度が身につく。</li> </ol>								
課題に対する フィードバック	課題やレポートのフィードバックは、授業時に適宜行う。				評価方法・基準	積極的な授業態度10点 課題30点 小レポート30点、最終レポート30点			
テ キ ス ト	鈴木孝夫(1973)『ことばと文化』岩波新書								
参 考 書	特になし。								
備 考	※大学編入コースの学生を対象とした授業である。								